

野沢温泉・野沢温泉スキー場における予備的調査結果

野沢温泉・野沢温泉スキー場の概要

- 本調査の対象となった事業所は369件である。

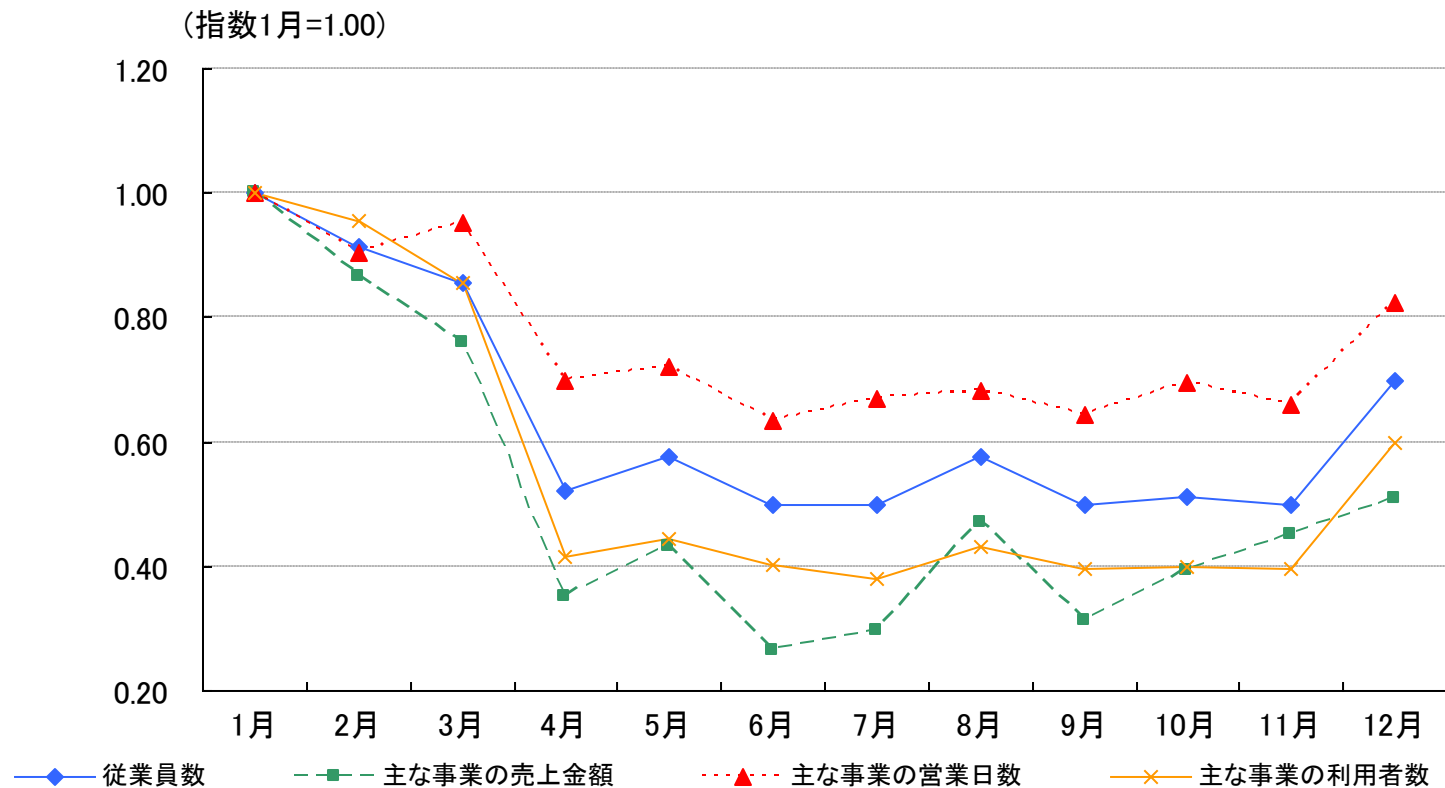
	観光産業 事業所数（件）
全国(対象地域合計)	52,745
野沢温泉・野沢温泉スキー場	369

野沢温泉・野沢温泉スキー場で調査対象となった旧市区町村：
旧豊郷村(長野県)

代表的な観光地点：
野沢温泉／野沢温泉スキー場

観光売上・利用者数の季節変動

- ・ 主な事業の売上と、利用者数共に1月～3月がピークとなっている。変動が非常に類似していることから、消費額単価(円/人)は安定していると考えられる。
- ・ 4月～11月は閑散期となっているが、従業者数や営業日数も少なくなっている。



事業別観光売上割合

- ・ 主な事業に占める観光売上割合は19.8～96%であり、全体としては67.8%と非常に高くなっている。
- ・ 観光産業が小売業、宿泊事業、飲食サービス事業に集中しているのも特徴である。

代表地域		全体	小売業	旅客運送事業	物品賃貸事業	宿泊事業	飲食サービス事業	生活関連サービス、娯楽事業	社会教育事業	不詳
全国	主な事業の売上(百万円)	5,151,082	2,861,539	423,935	100,895	417,630	778,564	462,627	74,526	31,366
	観光売上(百万円)	1,276,492	257,465	137,803	53,067	286,370	143,642	348,158	45,938	4,049
	(観光売上割合)	(24.8%)	(9.0%)	(32.5%)	(52.6%)	(68.6%)	(18.4%)	(75.3%)	(61.6%)	(12.9%)
野沢温泉・野沢温泉スキー場	主な事業の売上(百万円)	6,438	2,134	0	0	3,718	587	0	0	41
	観光売上(百万円)	4,366	421	0	0	3,570	375	0	0	-
	(観光売上割合)	(67.8%)	(19.8%)			(96.0%)	(63.9%)			

観光需要に基づく資金の約22%が域内に循環している

回答事業所数 108事業所

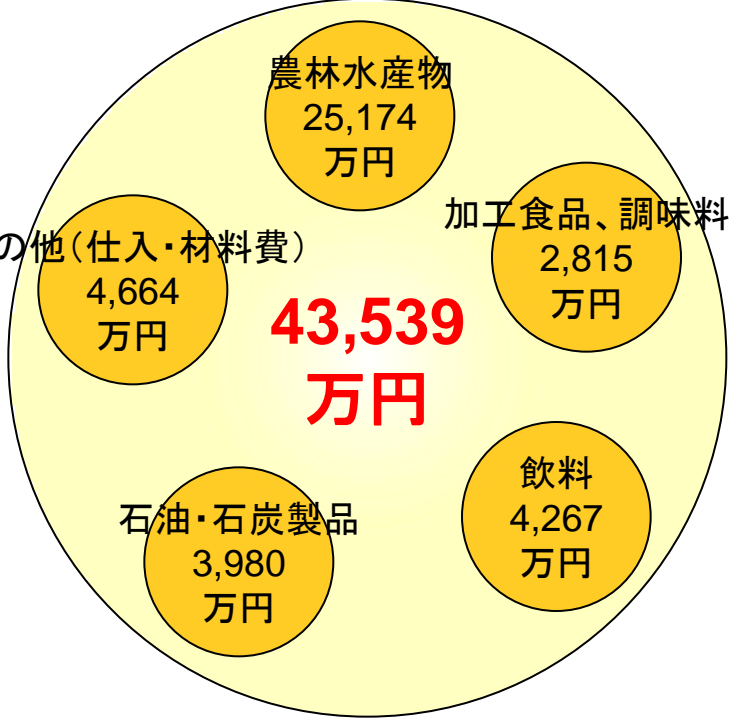
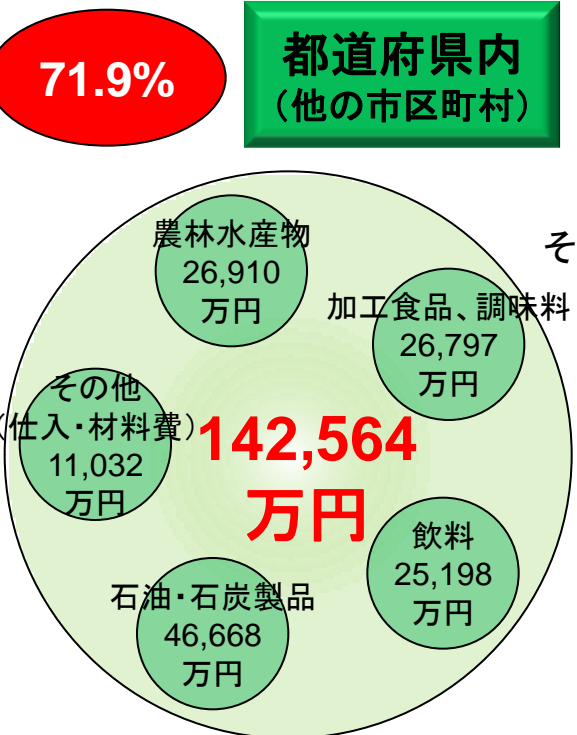
観光産業事業所
(年間仕入・外注費用計：198,156万円)

市区町村内 (域内) **22.0%**

都道府県内 (他の市区町村) **71.9%**

- 域内調達率上位3項目 (5割以上)**
- 1. 人材派遣サービス 100.0%
 - 1. その他(外注費) 100.0%
 - 3. 農林水産物 48.1%
- 域内調達率下位3項目**
- 1. 繊維製品、皮革製品 0.0%
 - 1. 紙製品、木製品 0.0%
 - 1. 医薬品・化粧品 0.0%
 - 1. 書籍・新聞・雑誌 0.0%
 - 1. その他の製造品 0.0%
 - 1. 情報処理・提供サービス 0.0%
 - 1. 物品賃貸サービス 0.0%

他の都道府県 **6.1%**



- ・ 個人経営では、売上(収入)金額の平均が費用総額を上回っている。
- ・ 法人経営の費用内訳では、仕入・材料費を除くと販売手数料がやや高くなっている。

個人経営

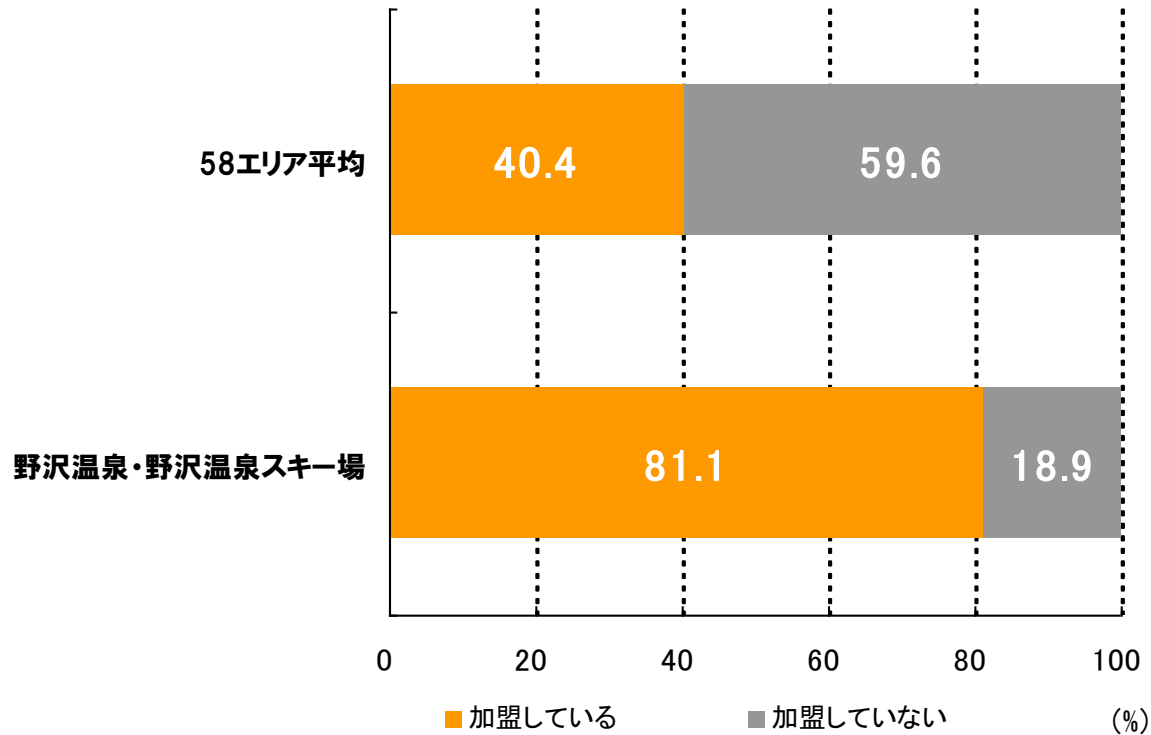
	平均
売上(収入)金額 (万円)	618
費用総額(売上原価+経費計) (万円)	576

法人

		平均
売上高 (万円)		5,031
費用	売上原価 (万円)	1,861
	販売費及び一般管理費 (万円)	2,562
費用内訳 (特掲)	仕入・材料費 (万円)	1,803
	外注費 (万円)	242
	販売手数料 (万円)	362
	広告宣伝費 (万円)	67
	従業員教育費 (万円)	13

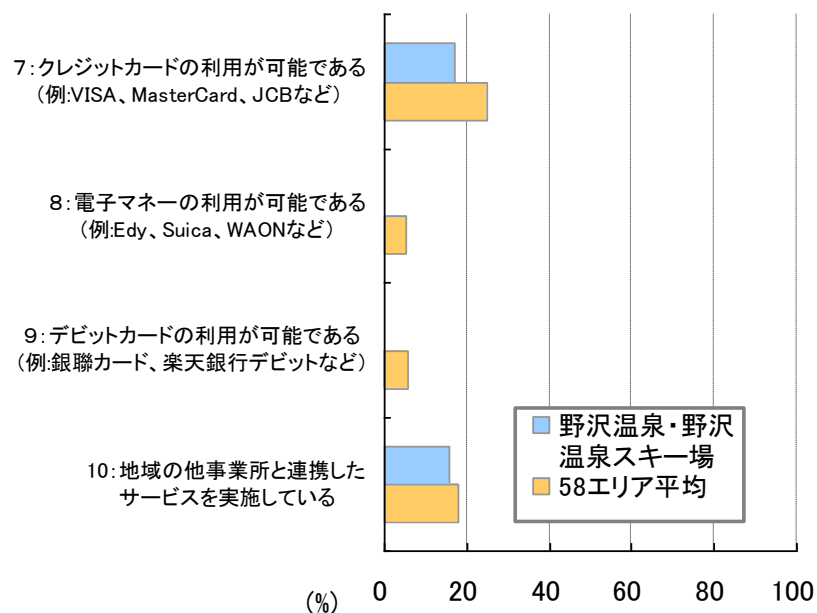
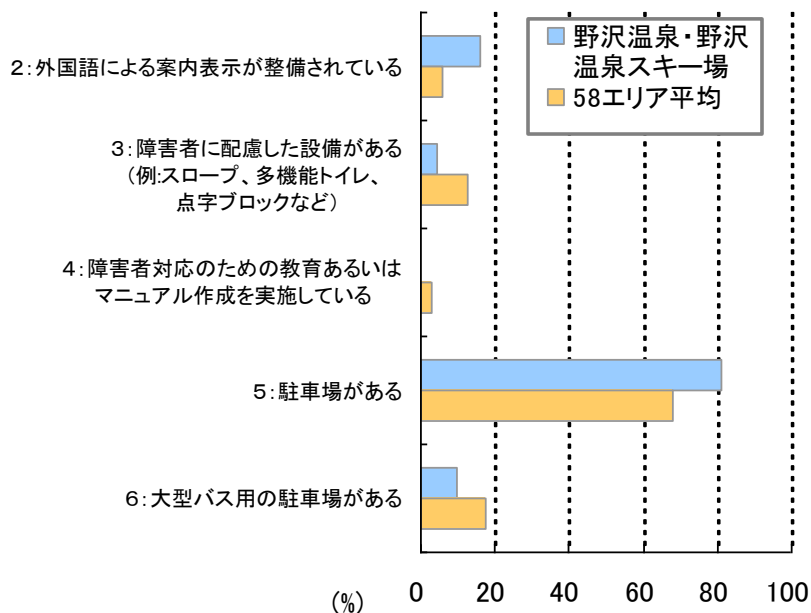
取り組みの内容[観光協会への加盟]

- 観光産業事業所の観光協会への加盟率は、野沢温泉・野沢温泉スキー場で81.1%と高く、58エリア平均の倍以上となっている。



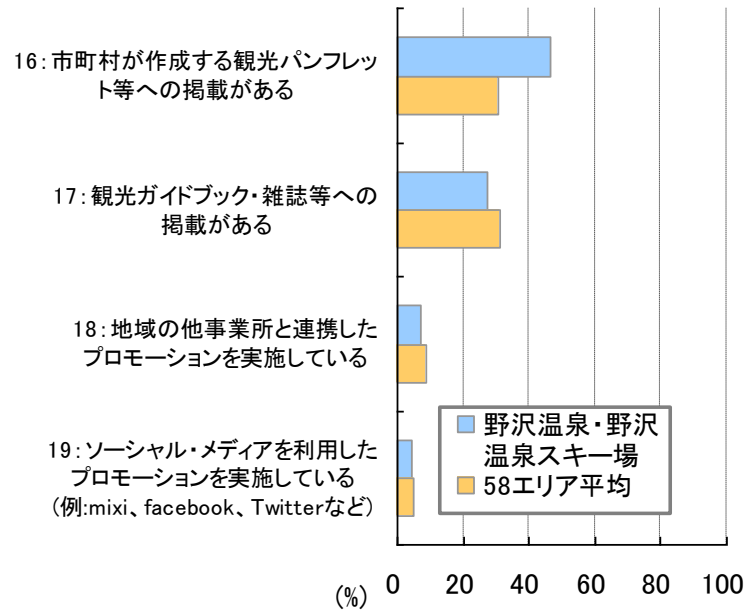
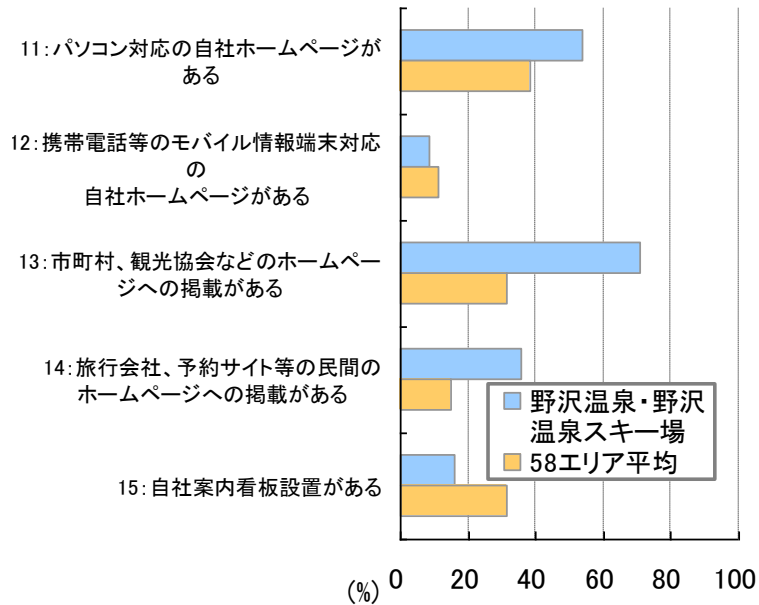
取り組みの内容[サービスの提供状況]

- ・「2.外国語による案内表示」は58エリア平均と比較して、高い割合となっており、外国人向けのサービスの提供が進んでいるエリアだといえる。
- ・「3.障害者に配慮した設備」は58エリア平均と比較して低く、「4.障害者対応のための教育あるいはマニュアル作成」の整備もほとんど進んでいない状況にある。
- ・「8.電子マネー」、「9.デビットカード」は整備がほとんど進められておらず、「7.クレジットカード」も58エリア平均と比べて低い割合となっている。



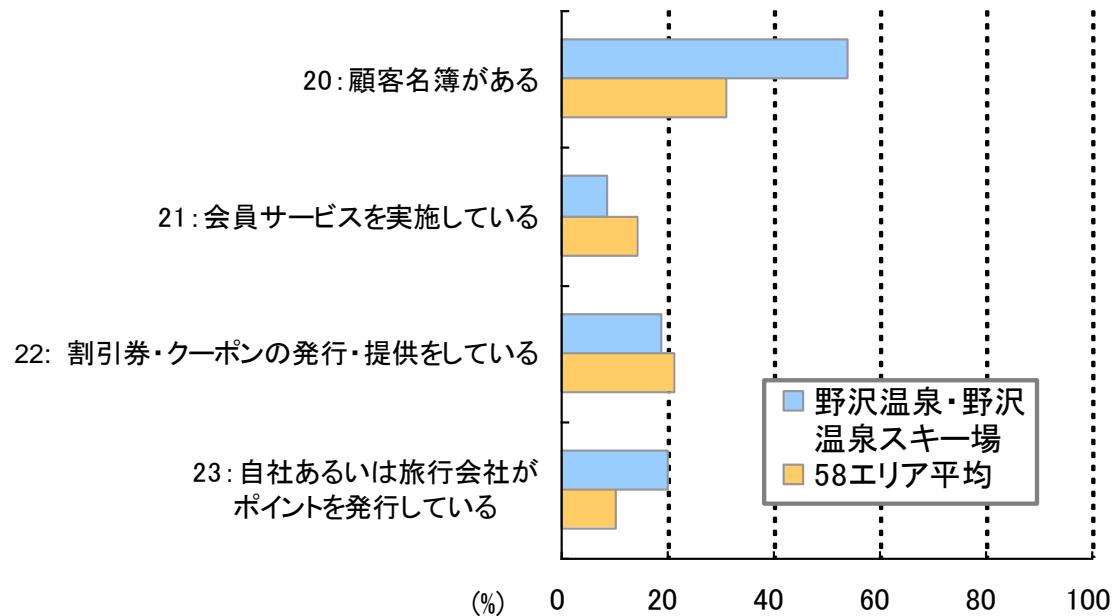
取り組みの内容[広告の実施状況]

- 「11.パソコン対応の自社ホームページ」は58エリア平均より高くなっており、事業所自らによる情報提供が実施されていると考えられる。
- 特に「13.市町村、観光協会などのホームページへの掲載」、「14.旅行会社、予約サイト等の民間のホームページへの掲載」、「16.市町村が作成する観光パンフレット等への掲載」が高くなっている。



取り組みの内容[マーケティング]

- ・ マーケティングへの取り組みについては「20.顧客名簿がある」、「23.自社あるいは旅行会社がポイントを発行」の割合が58エリア平均と比較して高い傾向にある。
- ・ 一方で、「21.会員サービスを実施」、「22.割引券・クーポンの発行・提供」は58エリア平均と比較してやや低くなっている。



電子商取引による売上の相手・手段の構成

- 観光客個人(手数料支払販売)への販売が全体の約80%を占めている。また、観光客個人(直接販売)が約20%となっており、企業・団体への販売はわずか1%となっている。

代表地域		観光客個人 [直接販売]	観光客個人 [手数料支払販売]	企業・団体
58エリア平均	構成比	59.1%	22.0%	18.9%
野沢温泉・野沢温泉スキー場	構成比	21.4%	77.7%	0.9%